

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【愛媛県】

学校名【東温市立西谷小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1～6年生 47名（全校児童） 保護者及びの地域の方 17名 教職員 10名 計74名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (校内マラソン大会と講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックとのふれあいにより、スポーツの意義や価値に対する理解を深め、関心を高めるとともに、スポーツに主体的に取り組む意欲を高め、これからの社会に求められる資質、能力等の育成を図る。
5 取組内容	(1) 事前の学習 校内テレビ放送を活用して、愛媛の誇るオリンピック士佐礼子さんに関する動画を放映し、土佐礼子さんやオリンピック、マラソンについて知る。 (2) 当日の学習 校内マラソン大会に土佐礼子さんをゲストランナーとしてお招きし、全レース（低・中・高）を子どもたちと一緒に走っ

ていただいた。走りながら声を掛け、励まし、気持ちを盛り上げていただき、子どもたちは最高の笑顔でゴールすること



ができた。

マラソン大会後には、「マラソンが教えてくれたこと」と題して講演会を行った。土佐さんの歩んできた陸上生活を写真や動画を用いて分かりやすく話していただき、児童は興味深く聴き入っていた。

(3) 事後の学習

お礼の手紙を送り、学んだことや感謝の気持ちを伝えた。



6 主な成果

- オリンピック・パラリンピック、マラソンに興味をもつ児童が多くなった。事業前では、2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開かれることを知っているものの、「あまり自分たちには直接関係がない」といった考えをもっている児童が多かった。しかし、今回の事業をきっかけにオリンピック・パラリンピックをより身近に感じ、「生でオリンピック・パラリンピックを見てみたい」(高学年)と発言する児童も出てきた。
- マラソン大会に意欲的に取り組むことができた。ほとんどの児童が練習タイムを上回る記録で走りきることができた。走り終わった後も、「土佐さんが一緒に走ってくれたので、マラソンがとても楽しかった」と発言する児童もいた。
- 講演会を通して、最後まであきらめず、粘り強く取り組むことの大切さを学ぶことができた。土佐さんのマラソンに対する取り組みや考え方をすることで、「自分も苦手なことやしんどいことであっても、逃げずにふんばりたい」と多くの児童が振り返っていた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元出身のオリンピックを講師としてお招きすることができたこと。 ○ 小規模校の利点を生かして、全ての学年の児童と一緒に走っていただくなど、全校児童ができる限り土佐さんとふれ合えるようにしたこと。
<p>8主な課題等</p>	<p>もし可能であれば、マラソン大会以前に走り方の実技指導等をお願いすることができれば、よりよい取り組みになったと考える。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>他の競技やパラスポーツにおいても、世界を知るアスリートの方をお招きして、ご指導やご講演いただけるように取り組めればと思う。</p>